

「フレキシブル担任制（チーム担任制）の推進」

東源台小学校

研究主題
「チームで対応できる柔軟な組織づくり」

取組の概要

東源台小では、一人ひとりの子どもの良さを引き出し、伸ばしていくため、複数の教員で組織するチーム担任制に取り組んでいます。この取組により、開放的で柔軟性の高い人間関係を構築し、ウェルビーイング（子ども、保護者、教職員など学校に関わる全ての人の幸せ）の実現を目指して研究を進めています。

チーム（学年）での実践と成果・課題の蓄積

学年ごとにチームでできることを考え、試行錯誤しながら実践を積み重ねています。その取組の一つとして、朝の会や帰りの会、給食の担当などを交替して行っています。

チーム担任制をさらに充実させるための新たな取組としては「チーム東源台シート」に実践の成果と課題などを随時記録し、共有を図っています。

情報共有の時間確保が課題として挙げられますがICTの活用により、いつでも情報を確認できるよう工夫しています。

令和6年度 2年部		
子ども・保護者・教職員 みんなのWell-Beingをめざして チームでできることを試してみよう！合言葉は「トライ&エラー&トライ！」		
学年のめざす姿「 」	学年のめざす姿「 」	学年のめざす姿「 」
ⅧⅠステージ 7月19日現在 <トライすること> ・校外活動は以外の先生にも引き出していた。 ・持ち回りで3人で朝読書を行った。 ・朝の会を持ち回りで行った。 ・給食の授業も交換授業で行った。	ⅧⅡステージ 10月4日現在 <トライすること> ・運動の授業も交換授業で行った。 ・朝のあそび活動も学年全体で行っている。 ・国語の生徒会が3クラスでブックトークを行った。	ⅧⅢステージ 月 日現在 <トライすること>
<◎成果◎課題> ○朝や帰りのあそびも定時以外の先生にも自然にできている。 ○それぞれの教師のよさも学年の財産として実質です。 ○生徒の目で学年の様子や気になる子の様子を度でもらう機会となった。 ●授業や給食などの立派な場合は、まだまだ。	<◎成果◎課題> ○それぞれのクラスの授業の様子やルールを知ることができた。 ○授業での様子も積極的に伝えることで新たな子どものよきも受けつづけることができた。 ○子どもも、クラスにこだわらなく同じ学年の仲間という意識がもてた。 ●授業や給食の交換にも挑戦していく。	<◎成果◎課題>
<7月 児童アンケート結果> 「学校は楽しい」肯定的な回答	<12月 アンケート結果> 「学校は楽しい」肯定的な回答	<2月 児童アンケート結果> 「学校は楽しい」肯定的な回答



担当の交換・教科担任制

学年の実態に応じ、定期的に学年内で各学級の担当教員を交替して子どもたちの指導・支援に当たっています。

高学年は、学年内で教科分担任を行い、学年内教科担任制で授業を進めています。また、低・中学年においても、道徳や学活の交換授業など、「複数の教職員で多様な子どもに関われる」ような工夫をしています。

昼休みには、教員も児童も学級の枠を超えて関わり、遊んでいる様子が見られます。様々な取組が人間関係の広がりや子どもの安心感、満足感の向上につながってきています。

取組の成果

【児童アンケートから】

- ・「学校は楽しい」
 - ・「いろいろな先生がクラスに入ったり、自分とかかわったりすることはよいと感じる」
- 理由：「先生によって教え方がちがうから面白い」「いろいろな先生と仲良くなれる」

【保護者アンケートから】

- ・「学校は楽しいと感じているようだ」
- ・「教職員は、みんなで子どもを育てようとしてくれているようだ」

【教職員アンケートから】

- ・「職場は働きやすいと感じる」
- 理由：「何でも相談しやすい雰囲気がある」
- ・「職場は働きがいがある」
- 理由：「やりがいを感じる」「子どもの成長を感じる」

